

障がいのある学生や生徒の学ぶ権利を守る

もともと長い間、障がいのある方の相談・支援に関わる仕事に、福祉や学校教育の領域で携わっておりました。そうした中で、障がいそのものを改善して社会適応を良くするモデル（医学モデル）から、社会環境を障がいのある方が参入しやすい方向に改善していくモデル（社会モデル）への転換を経験し、誰もがいくつになっても、どのような状態でも社会で共に暮らることに興味関心を持ち、この研究に辿り着きました。私の視点で独自性があるとすれば、「心理」・「福祉」・「教育」・「社会」の4領域にわたり、問題を捉えて考えていることかもしれません。またその際に「コミュニティ概念」を持ち理解するように努めています。

産業界へのアピールポイント

- 障がいのある学生の修学支援
- 障がい者の権利擁護
- バリアフリー環境の整備



谷津 修一 (ヤツ シュウイチ) 准教授
教育機構 障がい学生支援室

【最近の研究テーマ】

- 不登校の児童・生徒・学生の相談援助
- 成年後見制度の推進

